

週報

2011.7～2012.6

国際ロータリー第2730地区 佐土原ロータリークラブ 第1180回 平成23年9月21日(水)

2011～2012年度
ロータリーテーマ



本日のプログラム

1. 点 鐘
2. ロータリーソング
「それでこそロータリー」
3. 四つのテスト
4. 会長の時間
5. 幹事報告
6. 出席報告
7. 委員会報告
8. 懇親会
9. 次週例会の案内「SAA」
10. 点 鐘

2730地区ガバナー 長峯 基
中部分区ガバナー補佐 林 務
RT会長テーマ

「こころの中を見つめよう 博愛を広げるために」

2730地区テーマ
「善いことをしよう」

佐土原テーマ
「クラブ会員の絆を より深めよう」

9月のテーマ
「新世代 月間」

9月7日(水)・・・「1178回」ガバナー公式訪問 夜間例会

9月14日(水)・・・「1179回」会員卓話③「福井輝文君」

理事会：9月のセレモニー

9月21日(水)・・・「1180回」夜間例会

9月28日(水)・・・「1181回」会員卓話⑤「岩切正司君」

会長：荒武 義博
副会長：村上 實
幹事：永野 陽子
委員：藤堂 孝一
計：梶田與之助
事務局：吉野由里子
宮崎市佐土原町下田島
11703-18
TEL：0985-62-7833
FAX：0985-62-7877
例会日：毎週水曜日
例会場：石崎の杜「歓鯨館」
TEL：0985-62-7757

第1179回の記録 平成23年9月14日

会長の時間

< 荒武 義博 会長 >

「論語」孔子(紀元前552～479年)

春秋時代の思想家孔子とその弟子たちの言行録。四書の一。二十編。

戦国時代初期から編纂が始まり漢代になって成立。「仁」を中心とする孔子およびその一門の思想が語られ、儒家の中心経典として中国伝統思想の根幹となった。日本へは応神天皇の代に伝来したといわれ、早くから学問の中心とされた。



今なぜ「論語」なのか

21世紀に入り、わたしたち人類は、有史以来の大変革期に直面しています。18世紀半ばに始まった産業革命から250年、人類は物質的な豊かさを求め続け、快適で便利な生活を手に入れました。

しかし、この物質文明の発展は、有限な資源を浪費させ、地球環境を破壊しつつあります。このまま人類が物質的な豊かさを求め続けていったら、まもなく地球大破局が起こるとさえいわれています。

地球環境の破滅を避けるには、物質的な豊かさを追求する「物質文明」から、心の豊かさを追求する「精神文明」へと、意識を改革しなければなりません。人間本来の姿(生き方)に気づき、地球環境と調和していくことが、21世紀を生きる人類のパラダイム(意識の枠組み)といえそうです。

現実にはこの、地球上で紛争が耐えないのも、元はといえば人間のエゴイズムであると言って過言ではない。お互いがこの論語にあるように「仁」を重んじる心があれば多少なりとも変わったと、私は思います。

『論語』の主人公・孔子(紀元前552～479年)の生きた時代(約2500年前)の中国は、国どうし、人間どうしが武力で争い合い、領土や地位を奪っていくという弱肉強食の世の中でした。孔子は乱れた世を憂え、「仁」(じん=相手の気持ちになってものごとを考える)という思想を唱えます。「思いやりの心=仁をもって、乱れた秩序を回復し、調和のとれた世の中にしていこう」孔子は、このように説きます。

【参考補足資料】

『論語』は、約2500年前の中国の思想家・孔子(こうし)を中心とした人々の記録です。

孔子のことばや行動をはじめ、弟子たちとの会話、

弟子どうしの話や行動を孔子の死後、編集したものです。いつごろ、だれによって編集されたのかは、よくわかりません。おそらく、孔子の死後、弟子たちが記憶していた孔子のことばや行動などを持ち寄って文章にし、まとめられたものと思われます。

文章の数は全部で約500、20の編から成っていますが、それぞれの編がテーマごとにまとめられていて、というわけではありません。中には、意味のあるまとめ方がなされていると思われるところもありますが、ほとんどは、相互に関連のない文章が、順不同に並べられているだけです。編の名前も内容をあらわしているわけではありません。各編の最初の文章の冒頭の文字を機械的に取りだしただけです。

たとえば、第1編「学而」(がくじ)は、「学而時習之」(学びて時に之を習う=まなびて ときに これをならう=学んだことを折りにふれておさらいする)という文章で始まりますが、その最初の2文字(学而)を取って編名にした、といった具合です。

『論語』の文章の並べ方、各編のまとめ方については、たいした意味はなさそうです。ですから、どこから読んでも、また、どこを読みとばしても、全体の意味が繋がらない、なんてことはありません。パラパラと眺めながら、「おもしろそうだな」とか、「ナルホドなあ」と、感じたところを拾って読んでいって参考にすればいいと思います。

論語と孔子20の編

- 【01】 学而編 (がくじ)
- 【02】 為政編 (いせい)
- 【03】 八佾編 (はちいつ)
- 【04】 里仁編 (りじん)
- 【05】 公冶長編 (こうやちやう)
- 【06】 雍也編 (ようや)
- 【07】 述而編 (じゅつじ)
- 【08】 泰伯編 (たいはく)
- 【09】 子罕編 (しかん)
- 【10】 郷党編 (きやうとう)
- 【11】 先進編 (せんしん)
- 【12】 顔淵編 (がんえん)
- 【13】 子路編 (しろ)
- 【14】 憲問編 (けんもん)
- 【15】 衛霊公編 (えいれいこう)
- 【16】 季子編 (きし)
- 【17】 陽貨 (ぎやうえつ)
- 【18】 微子編 (びし)
- 【19】 子張編 (しちやう)
- 【20】 堯曰編 (ぎやうえつ)



幹事報告

＜幹事 永野 陽子君＞

委員会報告

○奉仕プロジェクト委員長 岩切 正司君

※例会変更のお知らせです。
28日(水)に予定しておりました「夜間例会」を来週21日(水)と変更致します。
場所 「めおと寿司」さん
時間 18:30～
会費 ¥3,000 です。
28日が通常例会です。よろしくお願ひ致します。



※「さどわらんまつり えきんまえ」実行委員長 水永 学 謹啓

貴社にはますますご清祥のこととお喜びを申し上げます。日頃より、佐土原町域の活動に対しまして多大なるご支援後ご協力をたまわりましてまことにありがとうございます御座います。今年も、昨年に続き当組合が主催者として実行委員会を組織し、企画いたしました、「さどわらんまつり えきんまえ」にご協賛ご協力を賜りまして厚く御礼申し上げます。「以下省略させていただきます」

○会員増強委員長 太田 忍君



9月のセレモニー



※9月誕生日～藤堂孝一君
永野陽子君
松田真幸君
※夫人誕生日～岩切純子さん
荒武由美さん
松田美果さん
※結婚記念月～日高邦孝君
田邊揮一朗君
♪おめでとう御座います♪

会員卓話

○福井 輝文君

本日は卓話の時間を頂きましたので、久しぶりに我が社の紹介と近況報告をさせていただきます。



SAAより次週の例会案内

○SAA 柳田 光寛君

次週21日の例会は「夜間例会」になりました。28日と入れ替えです。

会社名 有限会社 福井精機
所在地

〒880-0212 宮崎県宮崎市佐土原町下田島 4889

電話番号 0985-73-7739

FAX 0985-73-5651

創立 平成元年4月

資本金 500万円

代表取締役 福井 輝文

事業内容 機械加工(1F)・機械取付
(2F・クリーンルーム)

＜沿革＞

平成元年4月 有限会社福井精機設立

敷地: 1,200 m² 事務所兼工場: 1F 559 m² 2F 363 m²

平成14年8月 門型設備導入のため第2工場新築

平成14年9月 事務所新築

1F 108 m² 2F 108 m²

平成18年4月 新CAD/CAM 導入

出席報告 <出席委員長 吉田 康一郎君>



会員 24名 (免除1名)
欠席者数 5名
有届け者～ 佐藤君
日高君・松田君
松浦君・原田君
出席者数 19名
出席率 79.1%
無断欠席数(前回) 0名
メイクアップ 0名
修正出席率 66.6%

四つのテスト

「言行はこれに照らしてから」

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

◆◆◆事務局便り◆◆◆

☆9月28日(水)メニューは【チキン南蛮定食】です。

☆9月のセレモニー記念品提供は、梶田種苗店さんより花鉢2種でした。ありがとうございます。

☆佐藤 高元会員の全快復帰が1日でも早まりますことを心よりお待ちしております。

☆会員卓話・委員会報告等「原稿提供」のご協力をどうぞお願い致します。

